

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

北斗市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道北斗市

3 地域再生計画の区域

北海道北斗市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2005年の48,056人をピークに減少しており、国勢調査による2020年には44,302人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2070年には総人口が16,238人となる見込みである

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）1980年の9,206人から減少し続けており2020年には5,444人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の3,640人か202年には13,396人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）2000年の31,063人をピークに減少傾向にあり2020年には25,462人となっている。

自然動態をみると、出生数は1998年の462人をピークに減少し、2023年には169人となっている。その一方で、死亡数は2023年には646人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲477人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2006年には転入者（2,278人）が転出者（2,062人）を上回る社会増（216人）であった。しかし、大学進学や就職に伴う、市外への転出者が増加し、2023年には▲351人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な

影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 充実する子育て支援により出会い・結婚・妊娠・出産・育児のイメージを描ける「まち」をつくる
- ・基本目標 2 北斗で働く人・働きたい人を応援するとともに北斗の特徴を活かし「しごと」をつくる

【数値目標】

5-3の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	187人	200~220人	基本目標 1
ア	北斗市に提出された婚姻届数	113件	120~130件	基本目標 1
ア	北斗子育てサポーターアプリ「母子モ」の妊娠届出数に占める登録者数の割合	50%	100%	基本目標 1
イ	新函館北斗駅周辺への立地企業数	34社	45社	基本目標 2
イ	新函館北斗駅周辺における雇用延べ人数	416人	460人	基本目標 2
イ	北斗市内における農業経営者数	601戸	515戸	基本目標 2

※ 2024 年度に実施した事業の効果検証については、第 2 期北斗市まち・ひと・し

ごと創生総合戦略に記載の数値目標を活用する。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の活用（内閣府）：【A3017】

① 事業の名称

第2期北斗市まち・ひと・しごと創生推進交付金事業

ア 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる事業

イ 北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業

ウ 子どもを生み、育てたいという希望をかなえる事業

エ 住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る事業

② 事業の内容

ア 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる事業

北海道新幹線をはじめ交通アクセスに恵まれた立地環境や豊富な地域資源等、本市の優位性を最大限に活かし、企業誘致や観光振興による地域経済の活性化を図り、北海道新幹線の札幌延伸を見据え地域の将来需要を的確に予測し、新たな人の流れを創出するとともに、目まぐるしい速さで進展を見せる未来技術の活用や産官学の連携によって、モノやサービスの生産性と利便性を高め、産業全般にわたる高収益化と雇用の拡大を図る事業。

【具体的な事業】

・市内企業の雇用確保と雇用機会づくりの促進事業 等

イ 北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業

豊かな自然や暮らしやすい生活環境、教育や福祉等、行政サービスの充実性といった本市の魅力や優位性を内外に発信し、本市が「選ばれる」ために必要な認知度を高め、本市に対する首都圏や道央圏の住民の関心

や関わりを深め、その維持・強化によって関係人口の創出・拡大を図り、文化やスポーツを通じた交流人口の拡大、さらには本市への移住・定住の促進と人材不足の解消につなげ、本市への新たな人の流れを創出する事業。

【具体的な事業】

- ・移住・定住促進支援事業 等

ウ 子どもを生み、育てたいという希望をかなえる事業

男女の出会いの場の創出等、結婚の希望をかなえる取組や、妊娠から出産、子育てに至る切れ目のない支援を行うとともに、保育士の確保と保育サービスの充実により仕事と子育てを両立できる環境整備を推進し、さらに子どもの能力を最大限に引き出し、急速な社会変化に対応できる誰一人取り残さない教育の推進によって、社会全体が未来への夢と希望を抱き、子育て世代の負担軽減と市民生活の質的向上を図り、人口の自然動態の改善を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・教育に関する多様な支援事業 等

エ 住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る事業

少子高齢化と人口減少による担い手不足が顕在化する中であって、多様化する市民ニーズに対応し、複雑化する地域課題を解決するため、市民の社会参加の促進によって地域のコミュニティを維持し、強化を図ることが重要であり、また、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが活躍し、生きがいを持って暮らすことができる地域共生社会の実現を目指す。

さらに、生活インフラや都市機能、日常生活におけるサービス機能を維持・確保し、持続可能な暮らしやすいまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・市民ニーズに対応した公共施設の管理・運営事業 等

※ なお、詳細は第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))

第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載の【数値目標】に

同じ。

④ 事業の評価の方法(PDCAサイクル)

【検証方法】

事業のKPIについて、毎年度の実績値を公表する。また、毎年度8月に当市の総合戦略検討・推進会議により事業の結果を検証し、改善点を踏まえて計画最終年度の事業手法を改良する。

【外部組織の参画者】

北海道渡島総合振興局地域創生部長、道立函館商業高等学校教頭、ハローワーク函館雇用開発部長、道南うみ街信用金庫北斗支店長 等

【検証結果の公表の方法】

目標の達成状況については、検証後速やかに北斗市公式ホームページで公表する。

⑤ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日

5-3 その他の事業

○ 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)の活用(内閣府) :

【E2001】

① 事業の名称

第3期北斗市まち・ひと・しごと創生推進交付金事業

ア 充実する子育て支援により出会い・結婚・妊娠・出産・育児のイメージを描ける「まち」をつくる事業

イ 北斗で働く人・働きたい人を応援するとともに北斗の特徴を活かし「しごと」をつくる事業

② 事業の内容

ア 充実する子育て支援により出会い・結婚・妊娠・出産・育児のイメージを描ける「まち」をつくる事業

妊娠・出産・子育て期における支援策を、引き続き充実させるとともに、道南広域で展開するマッチングアプリ導入の検討や、出会いの場づくり等、結婚に至るまでの支援にも力を入れ、「出会い・結婚・妊娠・

出産・子育て」といった切れ目ない取組により自然減対策につなげる事業。

【具体的な事業】

- ・結婚を望む方への支援
- ・妊娠を望む方への支援
- ・妊娠から出産、産後までの切れ目のない支援による、こどもを生き育てやすい環境の整備
- ・北斗市の子育て支援策の強みを、市民に対し、より知っていただく取組の推進
- ・子育て等を地域で支え合う仕組みづくり
- ・こどもの安全・安心の確保
- ・子育て世帯の経済的な負担の軽減
- ・デジタルの活用による、こどもに関する手続きの利便性向上 等

イ 北斗で働く人・働きたい人を応援するとともに北斗の特徴を活かし「しごと」をつくる事業

新函館北斗駅周辺等への企業誘致、雇用環境の充実へと誘導する補助制度等、雇用の場の確保と人材不足を改善できる支援に取り組むほか、新規就農を含めた道南の職、テレワークやサテライトオフィス等による二地域居住等、新幹線を始めとした多様な交通ネットワークの結節点である本市の特徴や交通利便性を活かし、より具体的なターゲットに訴求することで、「しごと」と組み合わせた新しい人の流れをつくり社会減対策につなげる事業。

【具体的な事業】

- ・北斗市の立地環境を活かした企業誘致の推進
- ・北斗市の特徴や利便性を活かし、移住・定住・二地域居住等、北斗市への人の流れをつくる
- ・地域産業におけるデジタル技術やA I、R P A等の最新技術の活用促進
- ・新規就農者の確保に向けた支援、受入体制の強化
- ・仕事と育児、家庭の両立に向け、働き方改革に取り組む企業への支

援等を通じ、職場環境の整備を促進

- ・企業・大学等と連携した地域を創る人材の育成
- ・若者の市内及び近郊への就職の促進
- ・地域の産業を支える人材を確保する、U I J ターン就職の促進
- ・若者・女性・高齢者・障がい者等多様な人材の活躍 等

※ なお、詳細は第3期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑤ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで